

一. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

これは、ある高校の弱小野球部が、たった1年で全国大会で優勝する物語である。
 主人公は、野球部のマネージャー。彼女は、チームを全国大会で優勝させるために立ち上がる。しかし自分の思いを話しても、部員たちからは、「弱小チームを優勝させるなんて、夢のまた夢。いかげんにしてほしい。」とまで言われた。誰一人優勝しようなんて本気にしてくれず一人ぼっちになってしまった。まさに (①) の状態だ。彼女はすっかり、(②) し、マネージャーをやめようと考えてた。
 しかし、彼女はあきらめなかった。野球部を強くするにはどうしたらいいのか、チーム改革に取り組んだ。手がかりを求めて (③) の日々が続いた。そんな彼女が (④) する姿に心を動かされ、練習に取り組む部員も現れた。ほかの部員も「優勝なんて無理だ。」と思いつつも、練習に必死で取り組んだ。練習方法も (⑤) を繰り返し、やっと満足な練習ができるようになった。
 とうとう彼らは、夢にまで見た全国大会に出場した。順調に勝ち進み、いよいよ決勝戦を迎える。彼らは胸をはって正々堂々と戦った。2対1で負けていたが、9回の裏に (⑥) のホームランが出て見事逆転した。無名のチームがたった1年で優勝するとうでできごと日本中の人が驚いた。この快挙を成し遂げたマネージャーの彼女をはじめ部員たちに、球場全体から惜みない拍手がおくられた。

(1) ①～③にふさわしい四字熟語をあとの口から選んで、記号で書きなさい。

- ① () () () () () () () () () ()
- ② () () () () () () () () () ()
- ③ () () () () () () () () () ()

- ア. 誇大妄想 こだいもうそう
- イ. 孤立無援 こりつむえん
- ウ. 意气消沈 いきしょうちん
- エ. 一念発起 いちねんほつき
- オ. 暗中模索 あんちゅうもさく

(2) ④には、「孤軍奮闘」 こぐんふんてう という四字熟語が入ります。意味を説明しなさい。

(3) ⑤には、「失敗を重ねながら目標に近づいていく」という意味の四字熟語が入ります。 () () に漢字二字を入れて、完成させなさい。

() () () () () () () () () ()

- 志向
- 思考
- 試行
- 施行

(4) ⑥に入る次の四字熟語の () には、反対の意味を表す漢字が入ります。ふさわしい漢字を入れなさい。

起 () () 回 () ()

(5) ⑥の四字熟語を使って、短文を作りなさい。

二. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

星と月と太陽がいつしよに旅に出ました。
 宿屋に泊まり、次の朝、星が目をさますと、月も太陽もいません。
 宿屋の者に、
 「月と太陽はどうした？」
 とたずねると、
 「月様も太陽様も、暗いうちにおたちになりました。」
 とおしえてくれました。すると、
 星は、
 「月日がたつのは早いものだ」

(1) (2)の文章のおもしろさについて説明した次の文の () () にふさわしい文章やことばを書き入れ、完成させなさい。

「たつ」ということばに、月様と太陽様が () () が過ぎ去るのは早いという () () の意味をかけているところがおもしろい。

三. 次の文章は「徒然草」という古典の文章とその現代語訳です。よく読んで、あとの問いに答えなさい。

A 徒然草 「第五十二段」

仁和寺にある法師年寄るまで石清水を拝まざりければ心うく覚えてあるとき思ひたちてただ一人徒歩より詣でけり。

極楽寺・高良などを拝みてかばかりと心得て帰りにけり。

きてかたへの人にあひて「年ごろ思ひつること果たしはべりぬ聞きしにも過ぎて尊くこそおはしけれそも参りたる人ごとに山へ登りしは何事かありけん。ゆかしかりしかど神へ参るこそ本意なれと思ひて山までは見ず。」とぞ言ひける。

少しのことにも先達はあらまほしきことなり。

B (現代語訳)

仁和寺にいた僧が、年をとるまで石清水八幡宮をお参りしたことがなかったので、残念に思われて、ある時思い立って、ただ一人で徒歩で参詣した。

ふもとの極楽寺や高良大明神などを拝んで、これだけのものと思ひ込んで帰ってしまった。

帰って仲間の人に向かって、「長年の間思っていたことを、成しとげました。前々から聞いていたのにもまさって、尊くられました。それにしても、参詣に来た人々が皆山へ登っていったのは、山の上にも何事かあったのでしょうか、私も知リたかったのですが、神に参拝することこそが、山の上までは登ってみませんでした。」と言ったのだった。

ちよっとしたことにも、その道の指導者はあってほしいものです。

C 何事も事前に確認を

大阪 花子

私は、以前からさくら町の納涼花火大会のフィナーレがとてきれいだと思っていた、やっと今年出かけた。

たくさんの方が会場に集まり、花火を楽しんでいました。空が真っ赤になるほど大きな花火が続けて上がって、それからしばらくは花火が上がりませんでした。他の人が帰らないのは何かあるのではと思いました。もう終わりだと思って、帰りました。

次の日の新聞で「圧巻のフィナーレ、空一面真っ白のさくら町花火大会」という記事が出ていました。

ちよっとしたことでも詳しい人に聞いておけばよかったと思いました。

(1) Aの——部の文章を音読します。Bを参考に、文章中の適切な位置に句点を打ちなさい。

(2) Bの□に入る言葉を考えて書きなさい。

(3) 山田さんは、新聞でCのコラムを見つけました。AとBとCを読み比べ、文章構成の共通点、内容の共通点を簡潔に書きなさい。

○文の構成の共通点は、

○内容の共通点は、